令和８年　第４回定例会　質問項目

１１月２０日（金）までに質問通告を受けた内容に基づくものです。実際に行われる質問内容と異なる場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

令和８年１１月２５日（水）　実施予定

１　清　原　和　幸　議員　（自民党議員団）

1　財政基盤の確立について
2　港区総合計画づくりについて
3　将来に向けた持続可能な区役所への改革について
⑴　区民への丁寧な説明と理解に向けた区長の姿勢について
⑵　分庁舎賃貸借契約の部分非公開は区民の信頼を失すると思うが区長の考えについて
4　発災後の避難所等での安全な飲料水の確保と提供について
5　少子化に対処するための施策の推進について
6　入札不調は区民サービス提供の遅れを招くが対策について
7　固定資産税のさらなる軽減に向けた区長の考えと行動について
8　各種団体から補助金等の増額を求められているが対応について
9　快適に暮らすために住環境の保全の条例を制定することについて
10　羽田新飛行経路の湾岸ルート活用のためＲＮＰ－ＡＲ装置搭載の促進の要請について
11　保育園での学びの充実と推進について
12　高齢者に対して賀寿ごとに寿祝い金１０万円を贈呈することについて
13　障害者に対する区の生活支援の構築について
14　全区民を対象としたインフルエンザ予防接種の無償化について
15　中小企業を取り巻く経営環境は厳しさを増しているが区の支援について
16　白金・白金台地域に「ちぃばす」を走行させて総合的な交通体系を完成させることについて
17　過去に浸水した建物への止水板設置工事助成費用の上限額や助成率を緩和することについて
18　教育について
⑴　幼児期からの学びの充実に向けた取組について
⑵　区立学校の不登校児童・生徒への給食費相当額の支援について
⑶　中学校海外修学旅行費用の無償化とパスポート代等の支給について
⑷　いじめ防止に向けた幼児期からの豊かな心の育成の推進について
19　その他

２　なかまえ　由紀　議員　（みなと未来会議）

１　区民が実践的な防災力を身につけるための取組について

ア　ペットの飼い主へさらなる啓発が必要。

イ　地域防災協議会への周知を図るべき。

ウ　体で覚える訓練の充実を。

エ　地域コミュニティーに参加していない区民にも防災力を高める機会の提供を。

２　安全・安心の公共空間について

ア　点字ブロックの改善を。

イ　公園の安全性向上を。

ウ　自転車の危険運転へ早期対策を。

エ　空き地・空き家対策について伺う。

３　物価高対策について

⑴　区独自の最低賃金について

⑵　給付手法について

４　広報について

個々にマッチした広報の実現を。

５　ハッキングや情報漏洩対策について

⑴　被害想定と被害を最小限に抑える工夫について

６　結婚の希望をかなえる政策について

若い世代の結婚を希望する声にどう応えていくのか。

７　少子高齢化を前提とした持続可能な区政運営について

少子高齢化を前提とした中・長期的区政運営を。

８　高齢者の住宅支援について

様々ある住宅支援施策に横断的に対応できる部署が必要。

９　小規模火葬場の整備について

小規模火葬場新設に向けた情報収集と検討を具体的に始めるべき。

10　東京湾大華火祭について

⑴　１１年ぶりに開催された今年の東京湾大華火祭の評価と今後について

11　動物愛護について

⑴　ＭＩＮＡＴＯ　ＤＯＧ＆ＣＡＴ宣言について

防災など様々な施策と連動した今後の展開を望む。

⑵　犬、猫の譲渡支援について

⑶　新たなドッグランの設置に向けた取組について

12　子どもの可能性を広げる施策について

ア　小・中学生の習い事へ助成を。

イ　副籍制度について伺う。

ウ　イノベーションラボの拡充を。

エ　キャリア教育のさらなる充実を。

オ　子どもの意見表明の支援を。

13　その他

３　池　田　たけし　議員　（公明党議員団）

１　ＭＩＮＡＴＯビジョンにおける少子化対策について

⑴　年少人口の現状の課題認識について

港区の年少人口が過去の推計を下回り続けている現状について、区長はどのような課題認識を持っているのか。

⑵　具体策について

子育て世代の定住促進の視点を含めて、具体策を講じていくことについて、見解を伺う。

２　東京湾大華火祭の成果検証と今後の継続開催に向けた検討体制について

今年度の開催について、速やかに検証するとともに、雨天時の対応を含めた運営上の課題を整理すべき。その上で、中央区とも協議し、次回以降の開催につながる具体的な方策を検討すべき。

３　子育ての希望を育む機会について

４　子どもの死を検証し、予防に生かす取組について

５　ＡＩを活用した子どもの体験機会について

６　高齢者が住み慣れた港区に住み続けるための支援について

７　都営住宅における高齢者支援について

区内の都営住宅に暮らす高齢者の孤立防止や地域での支え合いの維持は、港区としても主体的に取り組むべき。

８　高齢者の就労機会の確保と生涯現役社会の実現について

９　民泊規制と違法民泊の実効性ある取締り体制について

⑴　民泊規制について

条例改正の検討段階から、民泊事業者団体などの意見を直接聞く場を設けるべき。

⑵　違法民泊の取締り体制について

民泊への規制強化と並行して、違法民泊への実効性ある取締り体制を構築すべき。

10　ぜんそくの長期管理薬の周知について

11　高齢者肺炎球菌結合型ワクチンの接種について

12　東京アプリとみなトクＰＡＹの連携について

区民の生活支援と区内商店街の振興を両立させる観点から、みなトクＰＡＹへの東京アプリのポイント交換について、東京都との協議を早急に進め、実現を目指すべき。

13　その他

令和８年　第４回定例会　質問項目

１１月２０日（金）までに質問通告を受けた内容に基づくものです。実際に行われる質問内容と異なる場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

令和８年１１月２６日（木）　実施予定

１　三　田　あきら　議員　（自民党議員団）

１　区民に寄り添った区政運営について

⑴　透明性の確保について

区民の知る権利は最大限保障されなければならない。今後、港区情報公開条例第５条第１項第２号が適用されるかどうかの判断基準を明確にした上で公表すべきであると考えるが、区長の見解を問う。

⑵　外部評価の実施について

将来に向けた持続可能な区役所への改革については、議会においても様々な議論があったところである。当該改革及び情報開示に関して適切な時期に外部評価が行われるべきであると考えるが、区長の見解を問う。

２　子どもの権利と健やかな成長の保障について

⑴　児童虐待防止への取組について

児童虐待の未然防止と早期発見のための相談体制及び支援の一層の充実について、区長の見解を問う。

⑵　子どもの性被害防止について

ア　子どもを性被害から守るため、子どもからの情報提供を促す方策について、区長の見解を問う。

イ　日本版ＤＢＳの認定対象事業者を増加させていく取組について、区長の見解を問う。

⑶　里親支援について

里親制度の周知や里親への継続的な支援、里親等委託率の向上に向けた取組について、区長の見解を問う。

３　質の高い教育環境の実現について

⑴　中高一貫校の設置について

中高一貫校の設置をきっかけとした区立小・中学校全体の教育水準向上について、教育長の見解を問う。

４　高齢者が安心して暮らし続けられる施策について

⑴　タクシー利用補助について

高齢者の外出機会を確保し、通院や買物などの日常生活を支えるため、タクシー利用に対する補助制度を検討すべきであると考えるが、区長の見解を問う。

⑵　電動シニアカーについて

移動に不安を抱える高齢者の自立した生活を支えるため、電動シニアカーの普及・啓発や利用支援について、区長の見解を問う。

⑶　日常生活のちょっとした困り事支援について

電球交換や家具の移動、粗大ごみの排出など、介護保険サービスでは対応しにくい日常生活のちょっとした困り事を支える仕組みを充実すべきであると考えるが、区長の見解を問う。

⑷　身元保証・終活支援について

身寄りのない高齢者等が安心して暮らし続けられるよう、身元保証や死後事務を含む終活支援の体制に関する今後の展開について、区長の見解を問う。

5　地域コミュニティーの維持、活性化について

⑴　町会・自治会の加入促進と担い手の育成について

町会・自治会は地域コミュニティーの基盤であるところ、加入促進と次世代の担い手育成に向け、区として支援を一層充実すべきであると考えるが、区長の見解を問う。

⑵　町会・自治会役員の負担軽減について

ア　町会・自治会の活動を持続可能なものとするため、役員が担う事務や申請手続等の負担軽減に向けた支援について区長の見解を問う。

イ　会長等の役員が出席する会議の統合などを進めるべきであると考えるが、区長の見解を問う。

6　地域防災力の向上と防犯ついて

⑴　地域防災協議会への支援について

地域防災協議会が地域の実情に応じた防災活動を継続できるよう、財政面での支援を充実すべきであると考えるが、区長の見解を問う。

⑵　炊き出しに関する協定について

災害時に避難者へ温かい食事を安定して提供できるよう、商店会等との炊き出しに関する協定の締結を進めるべきであると考えるが、区長の見解を問う。

⑶　消防団の活動場所の確保について

消防団が訓練や資機材の管理等を円滑に行えるよう、地域の実情に応じた活動場所の確保を進めるべきであると考えるが、区長の見解を問う。

⑷　学校における防犯について

児童・生徒の安全を確保するため、学校への不審者侵入防止や緊急時の対応体制について、対策をより一層強化すべきであると考えるが、教育長の見解を問う。

7　安心して生活できる環境の確保について

⑴　生活環境条例の制定について

飲食店等に起因する臭気や騒音など生活環境の問題に対応するため、生活環境条例の制定を進めるべきであると考えるが、区長の見解を問う。

⑵　ネズミ対策について

ネズミに関する相談が急増している。発生源への対策と地域ぐるみの防除及びこれに対

する支援を強化すべきであると考えるが、区長の見解を問う。

⑶　羽田空港新飛行経路に関連して発生している騒音対策について

羽田空港新飛行経路に関連する騒音対策のうち区が取り得る施策について、区長の見解を問う。

８　地域のニーズに寄り添ったまちづくりと地域産業への支援について

⑴　スーパーマーケット等の生活利便施設の確保について

地域で安心して暮らし続けられるよう、日常の買物を支えるスーパーマーケット等の生活利便施設の確保に向けた一層の取組について、区長の見解を問う。

⑵　高樹町通りの道路拡幅について

都市計画道路補助線街路第２３号線における道路拡幅に関する今後の対応について、区長の見解を問う。

⑶　中小企業等のウェブサイトの改修支援について

ウェブサイトの脆弱性を狙った不正アクセスなどが増加しており、中小企業等は既存ウェブサイトの改修やセキュリティー対策の強化を迫られている。これらに対応するための支援等を行うべきと考えるが、区長の見解を問う。

９　歴史・文化・伝統を継承する施策について

⑴　伝統芸能の振興について

地域に受け継がれてきた伝統芸能を次世代につなぐため、担い手の育成や発表機会の確保など、振興策を一層充実すべきであると考えるが、区長の見解を問う。

⑵　学校での伝統文化教育について

子どもたちが地域の歴史や伝統文化に親しむ機会を増やすため、学校教育における伝統文化の体験・学習を充実すべきであると考えるが、教育長の見解を問う。

10　その他

２　鈴　木　たかや　議員　（自民党議員団）

１　防災について

⑴　災害対策住宅の入居要件について

若手の職員を積極的に活用するべき。

⑵　その他

２　Ｍｉｎａｔｏ　Ｃｉｔｙ　Ｗｉ-Ｆｉについて

⑴　Ｗｉ-Ｆｉ環境の整備について

防災拠点など優先的に通信環境の整備を見直すべき。

⑵　その他

３　みなトクＰＡＹの今後の方向性について

ア　港区としての今後の方向性、スタンスを明確に打ち出して区民や港区商店街連合会が納得できる仕組みの構築をするべきと考える。

イ　その他

4　探求型学習の実施について
　ア　地域特性を生かした独自の探求型教育を作るべきだと考える。
　イ　その他
5　スマートごみ箱の設置について
⑴　区内のごみ箱設置の考え方について
⑵　その他
6　その他

3　榎　本　あゆみ　議員　（みなと未来会議）

1　２１００年を生きる子どもたちを支える子育て支援について
⑴　少子高齢化時代における子育て支援の位置づけについて
⑵　区長部局と教育委員会の間における子育て支援の格差解消について
⑶　子育て広場における質の均一化とサービス向上について
⑷　民設学童クラブの拡充と既存学童クラブの質の向上について
⑸　乳幼児健診、予防接種のデジタル化について
⑹　障がい児の一時預かり無償化について
⑺　保育施設の需要見通しと施設整備について
⑻　その他
2　Ｓｏｃｉｅｔｙ５．０時代に子どもたちの可能性を伸ばす教育について
⑴　公立小・中学校における学校間格差の是正と教育水準の担保について
⑵　グローバル社会に対応する小学校英語教育の充実について
⑶　共働き家庭を前提とした学校運営について
⑷　個人を尊重する授業編成について
⑸　その他
3　防災意識の向上について
⑴　意義のある防災訓練について
⑵　私立保育園・幼稚園・小学校・中学校への防災状況把握と支援について
⑶　その他
4　子どもたちが安心して暮らせるまちづくりについて
⑴　区立公園におけるごみ箱の設置及び点検の見直しについて
⑵　みなとタバコルールの徹底と喫煙指導の強化について
⑶　過料の導入について
⑷　その他
5　子育て家庭の交通インフラについて
⑴　コミュニティバスの在り方と子育て家庭への支援について
⑵　自転車走行空間の安全確保について
⑶　その他

6　次世代型ネットワーク環境の整備について
⑴　Ｗｉ－Ｆｉ整備について
⑵　その他
7　その他

4　さいき　陽　平　議員　（みなと未来会議）

1　物価高対策について
ア　全区民への１万円分のみなトクＰＡＹの給付を評価する一方、物価高騰が続く中、ゼロ歳から高校生年代までの子ども、とりわけ「はばたけ　応援祝金」の対象とならない子どもがいる世帯への支援も重要であることから、子育て世帯への支援を総合的に検討すべきと考えるが、区長の見解は。
イ　その他
2　少子化対策について
⑴　大澤副区長の役割について
保健福祉支援部、子ども家庭支援部、教育委員会との連携など、担任する各部門における少子化対策の推進に向け、区長は大澤副区長にどのような指示を行い、何を期待しているか、区長の見解は。
⑵　浦田副区長の役割について
住宅政策、産業振興、まちづくりなど、担任する各部門における少子化対策の推進と予算への反映に向け、区長は浦田副区長にどのような指示を行い、何を期待しているか、区長の見解は。
⑶　総合政策推進幹の役割について
少子化対策に係る各部門の役割の明確化、施策の総合調整、予算の重点配分及び効果検証について、区長は総合政策推進幹にどのような指示を行い、何を期待しているか、区長の見解は。
⑷　教育長の役割について
少子化対策における教育の役割をどのように認識し、学校教育部長及び教育推進部長に対して、それぞれどのような取組を指示していくのか。また、区長部局との連携をどのように進めていくのか、教育長の見解は。
⑸　その他
3　立体都市公園制度の活用等による公共施設整備について
ア　スポーツ施設の不足や地域ごとの利用機会の偏りを解消するため、立体都市公園制度の活用を含め、区有地や民間施設の屋上・地下空間、複合施設などを立体的に活用した施設整備を検討すべきと考える。利用需要を踏まえた候補地や実現条件の具体的な調査・研究に着手することについて、区長、教育長の見解は。
イ　その他
4　たばこの副流煙などによる受動喫煙と路上喫煙への対策について

ア　みなとタバコルールの実効性を高めるため、喫煙所の増設や環境改善、巡回指導及び啓発の拡充、違反が集中する場所への重点的な対応、通報体制の整備、ルール違反に対する過料の導入など、受動喫煙防止対策をより一層強化すべきと考えるが、区長の見解は。

イ　その他

5　高額な住民税を納める際の手続の煩雑さについて

ア　令和９年１月の税務システムの標準準拠システムへの移行及びｅＬ－ＱＲの導入により、３０万円を超える納付を含め、納税者の利便性がどのように向上するのか。また、新たな納付方法について、区民への周知をどのように進めるのか、区長の見解は。

イ　その他

6　ネズミ対策について

ア　ネズミの発生状況に関する現状分析や有識者による検討結果を踏まえ、みなと保健所、総合支所、清掃部門、道路・公園管理者等が連携し、町会、商店会、建物所有者等と協力した地域一体の面的なネズミ対策を、必要な予算と実施体制の確保も含めて一層強化すべきと考えるが、区長の見解は。

イ　その他

7　健康増進センターヘルシーナの休館中の代替施設について

ア　令和９年４月から１０月までの休館期間中も、利用者が健康づくりを継続できるよう、赤坂エリアの公共施設や民間施設を活用した代替施設を確保するとともに、運動機器の利用や教室、相談、指導等の継続に必要な経費を来年度予算に計上すべきと考えるが、区長の見解は。

イ　その他

8　繁華街へのスマートごみ箱の設置について

ア　先行する３エリアでの設置効果を検証するとともに、六本木エリアや麻布台ヒルズ周辺など、ごみの散乱や人の流れを踏まえたニーズの高い地域への設置拡大を進めるべきと考える。新たな設置候補地の選定と関係機関との具体的な協議について、区長の見解は。

イ　その他

9　ＡＩが区の公式情報を見つけ、正確に読み取り、区民への回答に生かしやすくする工夫について

ア　区民が日常的に利用する生成ＡＩを通じて、区の施策や支援制度に関する正確な情報を取得できるよう、生成エンジン最適化（ＧＥＯ）の観点から、子育てや福祉などの申請期限のある事業を中心に、区公式ホームページの情報発信の改善を進めるべきと考えるが、区長の見解は。

イ　その他

10　日本の伝統・文化・歴史に関する学習の充実について

ア　ＭＩＮＡＴＯグローバルコンパスは「伝統」を三つの柱の一つに掲げている。子どもたちが世界の人々と交流する上で、日本の文化や歴史を自分の言葉で語れることは重要

である。各校で培ってきた取組を生かし、日本の伝統・文化・歴史を学ぶ機会をさらに充実させ、その狙いと具体的な実践例をＭＩＮＡＴＯグローバルコンパスに明記すべきと考えるが、教育長の見解は。

イ　その他

11　その他

５　なかね　　大　　議員　（公明党議員団）

１　あっぴぃパーク高輪の障がい児の利用対象の拡大について

２　介助者操作型電動アシスト車椅子への支援について

３　スクールカーの利用対象の拡充について

４　いじめ対策の強化について

５　その他

６　兵　藤　ゆうこ　議員　（立憲・みなと政策会議）

１　今後の財政運営について

区は、区民の生活に役立つ区民サービスを提供するに当たり、財政基盤をどのように運営していくのか今後の財政運営について伺う。

２　困難女性支援法施行後の区の支援について

⑴　区の支援の方向性について

施行から２年が経過して、区の支援の方向性はどのようになっているか。

３　日中サービス支援型グループホームに看護師を配置することについて

⑴　港区独自の医療支援について

重度知的障がい者団体から看護師の配置を求められているが区の見解は。

４　「障害者のためのサービス一覧」の見直しについて

⑴　障がい者の要望について

「障害者のためのサービス一覧」を障がい者の要望どおり見直しすることについて区の見解は。

５　福祉避難所について

⑴　福祉避難所の考え方について

区は障がい者の障がい特性を理解して、希望する障がい者に寄り添って避難を容認するべきだが区の見解は。

６　認知症対策について

⑴　今後の認知症対策の方向性について

年々増加傾向の認知症に対する対策の方向性は。

７　ひとり暮らし高齢者に向けたサービスについて

⑴　周知、徹底について

情報が行き渡りづらいひとり暮らし高齢者へ必要なサービスが受けられるよう周知、徹底を。

8　羽田新飛行経路の固定化回避に向けた取組について

⑴　国への要請行動について

区は区民アンケートの解答を踏まえ、区長には国へ要請行動を起こしていただきたいと考えるが区の見解は。

9　先端教育について

⑴　ＭＩＮＡＴＯスタイルについて

ＧＩＧＡスクール構想において展開されるＭＩＮＡＴＯスタイルについて、成果と今後どのように展開していくのか。

10　港区立中高一貫校について

⑴　今後の方向性について

区民アンケート結果を踏まえ、今後の方向性は。

11　その他

７　根　本　ゆ　う　議員　（港区政策会議）

1　区立中高一貫教育校の設置について

⑴　区立中等教育学校の設置について

区民及び児童・生徒等へのアンケート結果を踏まえ、６年間の一貫した教育を実現できる区立中等教育学校の設置を基本に検討すべきと考えるが、教育長の見解を伺う。

⑵　東京都教育委員会との協議について

今年度末の設置方針の決定を待たず、教育長自ら東京都教育委員会と政策的な意見交換を行い、実現上の課題を把握し、その結果を設置方針に反映すべきと考えるが、見解を伺う。

2　その他

８　福　島　宏　子　議員　（共産党議員団）

1　麻布米軍ヘリ基地問題を広く区民に知らせることについて

１０月１０日から映画「東京上空３００メートル」の上映が始まり、好評のもと全国各地で上映が広がっています。

ア　映画「東京上空３００メートル」を広く区民に広げること。港区独自で上映会を開くこともぜひご検討いただきたい。

イ　騒音測定の実施とその結果を広く区民に伝えること。

ウ　その他

2　環状第４号線に係る住民の不安解消に努めることについて

白金台２・３丁目まちづくり協議会から６点にわたり、環状第４号線に関する情報提供が

要望されています。

ア　区として、住民の要望に応え、東京都に情報提供を求め、適宜まちづくり協議会に届けること。地域住民の不安解消に努めること。

イ　その他

3　区内事業者の営業を守り応援することについて

区内で１００年以上にわたり営業している個人事業者から切実な相談をいただきました。「以前は港区からの注文があったがこのところ全くなくなった」と言います。

ア　区有施設の備品等はできる限り区内事業者に発注すること。

イ　その他

4　港区スポーツセンタープール改修工事の進捗状況について

来年４月からの再開を待ち望む声に応え、

ア　スポーツセンタープール工事の進捗状況を区民に知らせること。

イ　スポーツセンタープール再開以降も学校プール開放を現在のとおり継続すること。

ウ　その他

5　その他

９　森　けいじろう　議員　（港区いのちの党）

1　会計年度任用職員のさらなる処遇改善について

ア　扶養手当及び住居手当の支給を早急に実施すること。

イ　担っている業務の内容や責任の程度を踏まえ、同一労働同一賃金の観点から、さらなる処遇改善を進めること。

ウ　正規職員への転換制度の創設について、引き続き特別区人事委員会に要望していくこと。

2　区職員の働きやすい職場づくりの推進について

ア　職員派遣制度の計画的な運用により、働きやすい職場づくりを推進すること。

イ　職員の増員や適切な人員配置に努めるとともに、デジタル化によって生まれた時間や人的資源を最大限に活用した機動的な人員配置を行うこと。

3　その他

１０　とよ島くにひろ　議員　（参政党の会）

1　養子縁組や婚姻届の本人確認について

⑴　組織的犯罪から区民を守ることについて

養子縁組や婚姻届の本人確認を必須にすべきと考えるが、区長の考えはいかがか。

2　グループホーム入居者と家族の連絡が取れない件について

⑴　グループホームみたてへの働きかけについて

まずは区の職員と家族と共に施設へ確認に行くべきだと思うが、第３回定例会後、具体

的に担当者にどのような指導を行ったのかも含めて、この問題に対する区長の見解はいかがか。

3　検定教科書について

⑴　図書館へ置くことについて

そのまま次の４年後の採択が始まるまで図書館に置いておく、もしくは各図書館に全種類の教科書を並べるなどのサービスをしてはいかがか、教育長の見解は。

4　東京タワー付近のデータセンターについて

⑴　データセンターの内容について

このデータセンターはどのような会社が入って、どんな運用が行われるのか。そしてなぜ都内のど真ん中にデータセンターを建てることになったのか、その経緯とは。

5　成年後見制度の第三者調査について

⑴　全件調査について

状況を詳細に把握できるのは全件調査であることを指摘したが、全件調査の場合何件で、そのうち何件を調査しようとしているのか。また、その際に選定基準はどのように決めたのか。

⑵　現在把握している調査対象の状況について

現在、実際に問題を訴えている被後見人や親族は何件あると把握していて、そのうち何件が調査対象になっているか。また、同じ問題を訴えている区民のうち選ばれる人と選ばれていない人がいるのはなぜか。調査対象を選定する際に具体的な基準を示した文書は存在し、また対象となる案件を選定した部署と担当者、最終決定者は誰か。

⑶　受託弁護士の独立性について

受託弁護士は区が選んだ案件以外を独自に調査対象にすることは可能な契約になっているか。そして実際に受託弁護士の独自判断で追加した案件はあるか。

⑷　保健福祉支援部と受託弁護士の関係について

保健福祉支援部が選定対象外とした案件を受託弁護士が把握し、再検討できる仕組みはあるか。

⑸　係争中の案件について

すでに裁判で係争中の案件は重大案件だからこそ裁判となっていると思うが、それらは調査対象に入れるのか。

⑹　対象を令和４年度に絞ることについて

令和４年度に絞って、区長申立てを行うための港区の要綱に基づく調査、検討会議、決定会議の記録が令和４年度の全案件に存在するか。そして、そういった資料は被後見人本人が亡くなった後、それを開示して確認できるのは誰か。

6　食料品だけ消費税１％から飲食店を守ることについて

⑴　みなトクＰＡＹの活用について

消費税ショックで飲食店の倒産が起こる可能性を踏まえ、飲食店などに向けたみなトクＰＡＹを準備しておいてはいかがか、区長の見解を伺う。

7　その他